



PUBLIC MAGAZINE

パブリック マガジン

第451号

発行 上士幌町農業協同組合

編集 営農振興部営農振興課

印刷所 上士幌印刷

# かみいはる

謹賀新年

2026 元旦

## 目次

- |                            |                                     |
|----------------------------|-------------------------------------|
| P 1～7…年頭のご挨拶               | P 18 ……令和7年度 J A 北海道女性大会・北海道家の光大会開催 |
| P 8 ……謹んで新年のお慶びを申し上げます     | J A 女性部商工会女性部との交流会開催                |
| P 9～11…第16回全日本ホルスタイン共進会    | 家の光                                 |
| P 12 ……農協法公布記念にあたって        | P 19 ……すずらん会11月例会  すずらん会12月例会       |
| P 13 ……J A 青年部子ども農業体験      | P 20 ……農業者年金で安心・豊かな老後を              |
| P 14 ……J A 青年部給食センターへ馬鈴薯寄贈 | P 21～22…第44回十勝農協連海外農業研修視察報告         |
| 第50回 J A 十勝青年部大会           | P 23 ……酪農振興会女性研修会開催                 |
| P 15 ……J A 青年部管外合同視察研修開催   | 上士幌町交通安全緊急決起集会開催                    |
| 第74回 J A 青年部全道大会開催         | 新入職員紹介  人事の動き                       |
| P 16 ……理事会だより  行事予定        | P 24 ……酪農情報                         |
| P 17 ……J A 女性部日帰り研修会開催     | P 25 ……秋の収穫作業風景                     |
|                            | P 26 ……令和7年度巡回ドックの最終案内              |
|                            | P 27 ……令和7年度年末年始の業務体制               |

# 年頭めぐり挨拶



代表理事組合長

高橋 昭博

令和八年の新春を迎え、組合員並びにご家族の皆様にご挨拶を申し上げます。

また、旧年中は当組合の事業運営に対しまして、格別のご理解ご協力を賜り、役職員を代表しまして厚く御礼申し上げます。

さて、農業を取り巻く情勢は、不安定な国際情勢の中、米国のトランプ政権による関税引き上げや、緊迫する中東情勢、更には米中関係の対立構造などの影響で、依然とし

て円安傾向に歯止めがかからず、食料、エネルギー価格、輸入資材コストの高騰により私たちの生活や農業分野に大きな負担をもたらしている一方で、農畜産物価格への転嫁が進んでおらず、農業経営に多大な影響を及ぼしております。

昨年十月には、我が国の歴史上初の女性自民党総裁の高市早苗氏が首相となり、また、昨年七月の第二十七回参議院議員選挙におきましては、農業関係者各位の多大なるご協

力によりJAグループ推薦の東野秀樹氏が初当選を果たしました。令和六年に改正された「食料・農業・農村基本法」に基づきまして、JAグループとしましては、より具体的かつ実効性のある計画や、農業関連予算の更なる拡充を要請してまいります。

昨年の本町農業につきましては、根雪始が過去に類をみないほど遅い二月四日になる

など、各種圃場管理や秋播小麦等への影響が懸念され、雪解けも遅く断続的な降雨により春耕期が遅れ、各品目において播種作業が集中することとなりました。六月に入りますと高温多雨となり、七月には猛暑日が続く雨不足による高温干ばつの影響で、小麦収穫は過去最速の七月二十五日に受け入れ終了しましたが、等級反収は史上最高の昨年に次ぐ十一・二俵となりました。その後は断続的な降雨の影響で金時類の色流れによる品質低下、馬鈴薯は高温干ばつの

影響と腐敗等により前年より収量減少となりました。

飼料作物におきましては、九月の収穫期後半に強風に見舞われたものの、大きな倒伏被害もなく収穫作業を完了することができました。しかし、生育期の雨不足や日照不足などにより二番草、飼料用トウモロコシにおいて平年比で収量減となりました。

生乳生産におきましては、七月の高温多湿により飼養管理に影響が出ましたが、前年並みの生産量で推移しております。しかし生産抑制は緩和されたものの、飲用乳の消費低迷に歯止めがかからず、道内はもとより全国的な需給バランスは引き続き注視していかねければならない状況にあります。家畜消流におきましては、黒毛和種ならびに乳牛取引価格は高値になってきておりますが、飼養費高騰は変わらないため依然として厳しい状況が続いております。

このような農業情勢におい

ても、日々鋭意努力される組合員の皆様には衷心より感謝と敬意を表するところであります。

我々JAとしましては、急激に進行する温暖化による気候変動や、国内外情勢の変化を前提とした営農設計も視野に、リスク対応型営農の検討も進めてまいりたい所存であります。本町の基幹産業である農業を支える組合員の皆様と、JAならびにJAグループが結集し、「協同」の力でこの激動の時代を乗り越えなければなりません。今後とも組合員の皆様の深いご理解ご協力を賜り、持続可能な農業づくりのために、協同組合に結集いただけますよう、心よりお願い申し上げます。

結びに、組合員ならびにご家族の皆様のご多幸を願いつつ、不断の努力が報われる一年となりますことを祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



# 年頭めぐり挨拶



会長理事

小 椋 茂 敏

組合員並びにご家族をはじめ地域の皆様におかれましては、輝かしい令和八年の新春を健やかにお迎えになられたことと心よりお慶び申し上げます。また、平素は当組合の事業全般にわたり、温かいご理解と多大なるご協力を賜っておりましてことに御礼を申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、私たち北海道農業を取り巻く環境は日本の食糧基地としての重責を担う一方で、多くの試練に直面して参りました。

特に作況においては、予測不能な気象条件が生産現場に大きな負担を強いました。一部の地域によつては春先の低温や降霜、高温障害、さら

には夏の長期的な少雨や豪雨、収穫期における長雨など複合的な気象要因に翻弄される局面もあり、品質・収量の低下を招きましたが、組合員の皆様の卓越した栽培技術と迅速かつ的確な対応によつて、基幹作物は概ね平年並みの水準を確保するなど、改めてその技術の高さと農業の粘り強さを示すことができました。

一方で、とりわけ北海道は大規模経営体が多いがゆえ、世界情勢による生産資材費等の高騰の影響は深刻であり、酪農畜産分野では配合飼料価格の高止まりが長期にわたり経営を圧迫し続け、経営維持に甚大な影響を与えております。加えて、激甚化する気候変動への対応は待ったなしの状況であり、今や強靱な生産基盤の構築が急務となっております。

こうした難局を乗り越えるためにも、国政の場における強い後押しが不可欠であり、皆様の強いご期待と多大なるご支援のおかげをもちまして、この度、東野ひでき氏を国政の場に送ることができましたことに、改めて心より感謝と御礼を申し上げます。東野氏が現場の声を力強く国政に届ける役割を担われることは、私どもJAグループにとつて大きな希望となります。東野氏とともに北海道農業が抱える課題解決のため、農業所得

の最大化、食料安全保障を根幹とする農業基本政策の抜本的な見直しに向け、緊密に連携を図り、生産者が誇りをもつて営農を継続できる持続可能な農業環境の実現に向けて全力を尽くす決意であります。

特に、昨今の気候変動に対応できる強靱な農業経営を支援するためにも、最新の農業技術の導入や資材供給ルートの見直しなど、農業所得の向上と経営安定化に取り組む必要があります。また、地産地消の推進はもとより、農業の環境保全機能、地域社会における多面的価値を消費者に向けて広く発信するとともに、組合員等二ーズに合わせた質の高いサービスの提供を目指し、JAグループとしての総合力を最大限に発揮して、いかなる環境変化にも揺るがない信頼されるJAを目指して参ります。

厳しい逆風の中にあつても、組合員の皆様は豊かな大地と向き合い、未来への希望を胸に、たゆまぬ努力と卓越した

技術を持つて安全で安心な農畜産物を生産し続けてこられました。上士幌農業の英知と情熱を結集したそのご尽力に對しまして、改めて敬意を表します。

農業は、私たちの地域と生活を支える根幹であり、次代へと引き継がなければならぬいものであります。本年も農業者の高齢化や担い手不足、地球規模での環境問題など課題は山積しております。私たちは幾多の課題を乗り越え、持続可能な地域農業と未来へと続く豊かな食文化を築き上げ、次代へ継承するという使命を再認識し、JA役職員一同が決意新たに組合員の皆様との対話を年頭においた事業推進に邁進して参ります。

結びに、組合員並びにご家族、地域の皆様の本年一年のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げるとともに、豊穣の出来秋となることをご祈念申し上げます。年頭の挨拶と致します。

# 令和8年 年頭にあたり



北海道農業協同組合中央会  
代表理事会長

樽井 功

新年あけましておめでとう  
ございます。

組合員の皆様におかれまし  
ては、日々営農に更に邁進さ  
れておられることと存じます。

また、組合員・役職員の皆  
様が一丸となり地域農業の振  
興や地域社会の発展に向け、  
日頃より多大なご尽力をされ  
ていることに対して、改  
めて敬意と感謝を申し上げる  
次第であります。

昨年の北海道農業について  
は、春先から天候に恵まれ、  
各作物の生育は全般的に平年

よりも順調に推移しておりま  
したが、道内の広範囲におい  
て被害が発生した夏場の記録  
的な豪雨や干ばつにより各作  
物等の収量および品質に影響  
が出た一年となりました。

近年、気候変動等による自  
然災害の多発や栽培適地の変  
化、円安基調の継続や国際紛  
争等に起因する資材価格の高  
止まりが農業経営に大きな影  
響を与えており、農業・農村  
を取り巻く環境は大きな変革  
期を迎えております。

この様な状況の中、昨年七

月に実施された参議院議員選  
挙において、組合員・JA役  
職員をはじめとする多くの皆  
様のご支援をいただき、全国  
農業者農政運動組織連盟が推  
薦した東野ひでき氏を国政に  
送り出すことができました。

この一步を重要な礎とし、  
改正基本法により基本理念と  
して位置付けられた、国民一  
人一人の食料安全保障の確保  
や環境と調和のとれた食料シ  
ステムの実現、持続可能な北  
海道農業の確立に向けて、組  
合員・JAの声を国政に届け  
る活動を継続していきます。

JAグループ北海道は、今  
後とも組合員との対話活動を  
一層強化し、協同組合の理念  
と精神を組織結集力につなげ、  
組合員の皆様が夢と希望を持  
つて営農と生活が続けられる  
環境を整え、「力強い農業」  
と「豊かな魅力ある地域社会」  
の実現に全力で取り組んでま  
います。

結びになりますが、本年は

午年です。午年はエネルギー  
と行動力が高まり、挑戦や成  
長の機会が得られる年とされ  
ています。この謂われにあや  
かり、本年が北海道農業の更  
なる飛躍の年となることと、  
皆様のご多幸とご健勝をご祈  
念申し上げ、年頭のご挨拶と  
いたします。





# 年頭めぐり後援



支所長 熊谷 健一

十勝農業改良普及センター  
十勝北部支所

新年明けましておめでとう  
ございます。皆様におかれま  
しては、ご健勝にて令和八年  
の新たな年をお迎えのことと  
お慶び申し上げます。また、  
日頃より当センターの普及活  
動に対しましてご理解とご協  
力を賜り、心より感謝申し上  
げます。

昨年の上士幌町における四  
月から十月までの気象経過を  
平年と比較しますと、積算気  
温は百十六%、積算日照時間  
は百十二%、積算降水量は百

一%となりました。また、前  
年の根雪始は平年より二十日  
遅くなり、最大積雪深は平年  
より約十七cm深く、最大土壌  
凍結深は平年並となりました。  
融雪期は平年より九日遅く、  
四月下旬の降雨等により耕起  
最盛期は平年より六日遅い五  
月五日となりました。それに  
伴い、てんさいのは種・移植、  
ばれいしよの植付作業も遅れ  
ました。五月中旬は天候が回  
復し、飼料用とうもろこしや  
豆類のは種作業も開始が遅れ

たものの、は種期はほぼ平年  
並となりました。は種・植付  
作業の遅れや五月下旬の低温  
により、各作物の生育が一時  
停滞しましたが、その後気温  
の上昇、以降生育期間全般に  
渡り気温が高傾向で推移した  
ため、各作物の生育は進みま  
した。ことに秋まき小麦や豆  
類、飼料用とうもろこしなど  
“実もの”の生育は昨年同様  
大幅に進み、収穫作業も平年  
より早く終了しました。  
各作物とも収量は概ね平年  
並以上となりましたが、高温  
による影響も見られました。  
小豆では倒伏や過熟・腐敗、  
金時では色流れ粒の発生によ  
る等級や規格内収量の低下が  
見られました。てんさいは根  
重は多かったものの、根中糖  
分が平年をやや下回る結果と  
なりました。また、牧草では  
夏枯れの発生も見られました。  
この一年の情勢ですが、昨  
夏もまた高温傾向となり、突  
発的・集中的な豪雨や強風の  
発生など、気候の変化がより

確実なものとなっています。  
今後の気象災害の頻発と、そ  
れによる農産物の収量・品質  
の低下、暑熱による家畜の生  
産性低下が懸念され、更に肥  
料・飼料ほか生産資材や燃油  
等の価格の高止まり、担い手  
不足など、厳しい状況は続い  
ており、それら諸問題への対  
応が重要課題になると考えら  
れます。  
これらの問題に対し、農業  
者と関係機関が一丸となり取  
り組んでいかなければなりま  
せん。堆肥やバイオガスプラ  
ントから生じる消化液等地元  
資源の活用、土壌分析を活用  
した適正施肥、輪作や緑肥投  
入によるほ場の地力の維持・  
向上、飼料分析を活用した適  
正な飼料給与、雑草対策や草  
地植生改善による良質自給粗  
飼料の確保、牛舎の暑熱対策  
等、今できることを一つ一つ  
着実に積み重ねていくことも  
に、地域におけるスマート農  
業技術等新技術の導入・活用  
も検討していくことが重要と

思います。

普及センターでは重点的に  
取り組む地域課題として、令  
和三〇七年度にかけて幸福地  
域の皆様のご協力の下、畑作  
物の安定生産を目指した技術  
改善に取り組んでいたところ  
ですが、令和八年度からはあ  
らためて上士幌町で新規に重  
点課題を立ち上げ、コスト低  
減や生産性・経済性向上に向  
けた取組を行う予定となつて  
おります。今後とも農業者・  
関係機関の皆様方と連携して、  
普及事業の基本テーマである  
「地域の目となり耳となる普  
及」「農業者のそばに立つ普及」  
「地域の知恵袋となる普及」  
を念頭に、地域振興の一助と  
なれるよう活動していく所存  
です。

結びに、皆様方のご活躍と  
ご健勝、今年が稔り多き一年  
であることをご祈念申し上げ、  
年頭のご挨拶とさせていただきます。

# 年頭めぐり挨拶



ホクレン清水製糖工場  
北部原料所

所長 佐藤 宏二

新年明けましておめでとう  
ございます。皆様におかれま  
してはつつがなく新しい年を  
お迎えのこととお慶び申し上  
げます。また、日頃よりホク

レン清水製糖工場ならびに北  
部原料所の活動に対しまして、  
ご理解とご協力を賜っており  
ますこと、心より感謝申し上  
げます。

さて、昨年のでん菜の春作  
業については、四月中下旬は  
降水量が多かったことにより、  
直播播種、移植定植ともに平  
年より遅い開始となり、その

後も断続的な降雨の影響で盛  
期・完了ともに平年より遅く  
なりました。

六・七月は気温が高く、降  
水量は少なく推移し、生育は  
順調に進み、七月上旬での生  
育調査では平年並みまで回復  
することとなりました。しか  
し六月から平均気温が高く推  
移したことから、褐斑病の初  
発につきましては平年より早

い六月下旬には見られました。

七月以降は六月に引き続き  
平年より高い気温が続いたこ  
と、七月下旬以降の断続的な

降雨により褐斑病が蔓延しや  
すい条件が揃い、更には根腐  
病や黒根病といった根部の病  
障害の発生も平年より多く見  
られました。

褐斑病については、高温と  
断続的な降雨による多発条件  
下ではございましたが、例年  
より早い六月下旬から防除を  
開始していただき、その後も  
防除間隔を短くして防除徹底  
していただいたことで、病勢  
の進展を抑えることができた  
と考えております。改めて、  
生産者皆様方の防除への高い  
意識を実感することができま  
した。

害虫被害について、七月下  
旬にはシロオビノメイガの発  
生が見られ、更には八月中下  
旬にはシロイチモジヨトウの  
発生が確認され、圃場による  
被害程度には差はあるものの  
発生は拡大していきましました。

八・九月の登熟調査の結果  
から、根腐病や黒根病の多発  
による減収を考慮し、平年よ  
り低い予想収量を計画しまし

たが、生産見込みとしては計  
画値を上回る収量が期待でき  
ます。

原料でん菜の輸送関連につ  
いて、JA上士幌町様におか  
れましては車輛確保にご尽力  
いただき、心より感謝申し上  
げます。本年の原料でん菜の  
受入輸送について、トラック  
ドライバーの労働時間等の改  
善で定められた『四百三十休  
憩』の導入と、糖分析業務  
の合理化に係る『サンプル採  
取基準の見直し』という大き  
な変更がございましたが、生  
産者皆様方ならびにJA上士  
幌町様のご理解とご協力を賜  
り運用することができました。  
心より御礼申し上げます。

現在、製糖工場では、生産  
者から供給していただいた貴  
重な原料でん菜を一つも無駄  
にすることなく砂糖にすべく、  
操業が続けられています。

また、本年は予想収量の乖  
離等もあり、生産者の皆様に  
は大変ご迷惑をおかけしお詫  
び申し上げるとともに、原料

でん菜の輸送にご理解ご協力  
をいただき、心より感謝申し  
上げます。

砂糖業界を取り巻く環境に  
ついて、令和七年のでん菜作  
付実測面積は、令和八年指標  
面積である五万haを既に下回  
っております。畑作の輪作体  
系維持のためにもでん菜を作  
付していただけるように活動  
して参ります。製糖工場とし  
て、生産者皆様の安定生産・  
所得確保に向けてJA・関係  
機関と連携し、栽培技術指導  
などの営農支援活動、適正な  
輪作体系の維持をしていくた  
めの活動を行っていききたいと  
考えております。些細なこと  
でも、原料でん菜に関するこ  
とでご相談などありましたら、  
ホクレン北部原料所をご活用  
していただければ幸いです。  
結びになりますが、皆様方  
とご家族のご健勝とご多幸並  
びに豊穰の秋を迎えられます  
ことを心よりご祈念申し上げ、  
新年の挨拶とさせていただきます。



# 有意義な女性部をめざして



J A 上士幌町女性部

部長 矢戸 藍

新年明けましておめでとうございます。  
皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

また、日頃より女性部活動に對しまして、部員の皆様、ご家族の皆様、役職員の皆様には多くのご理解、ご協力を頂いていることにも深く感謝申し上げます。

今年度は、家畜品評会での豚汁提供や、バルーンフェスティバルでの新じゃが提供など、たくさんの方に喜んで頂きました。また、定期的に参加協力が難しかった農商工生涯学習まつりにも、部員の方にもお手伝いいただく形で人数を集め、何とか女性部恒例の豚汁販売と牛乳試飲会を行なうことができ、ご来場の皆様に楽しんで頂けました。部員数が減ってしまった今、役員対応だけでは参加協力が難しいことも、部員の方

にもご協力頂くことで可能になると実感しました。今後とも皆様のご協力、そしてより多くのご意見やアイデアを頂けたらと願っています。

農業女性はとてもパワフルです。妻であり、嫁であり、専従者でもある農業女性。多くの方が母であり、中にはかわいいおばあちゃんもいるかもしれません。そんなパワフルな農業女性の「自分らしく輝ける場所の一つ」がJA女性部活動になれるよう、今後もより一層精進してまいります。

女性部未加入の方、再加入希望の方、私たちと一緒にパワフルに活動しませんか？パワフルな女性部活動に不安な方もどうぞお気軽にお声掛けください！いつでも大歓迎です！最後になりますが、本年が皆様にとって最良の年となりますよう、心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。



女性部 日帰り研修会



女性部 花壇づくり



フレッシュミズ部会 夏季研修会



すずらん会 8月例会

# 未来に繋がる 青年部活動を



JA上士幌町青年部

部長 伊藤頭太郎

新年明けましておめでとうございませう。日頃より皆様方には青年部活動に対しご理解、ご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

昨年の上士幌町は、雪解けも遅く断続的な降雨により春耕期が遅れ、各品目において播種作業が集中することとなりました。六月は高温多雨、七月には猛暑日が続き雨不足による高温干ばつの影響で、小麦収穫は過去最速の七月二十五日に受け入れ終了となりました。

その後は、気象状況が不安定な状況が続く、作物全般的に前年を下回る収量となりました。

また、生乳生産におきましては、前年並みの生産量で推移しておりますが、生産抑制は緩和されたいものの、飲用乳の消費低迷に

歯止めがかからず、全国的な需給バランスは引き続き注視していかねばならない状況にあります。

社会情勢へ目を向けますと、

気候変動等による自然災害・円安基調の継続・国際紛争等による資材価格の高止まりが今後も農業経営に与える大きな影響は計り知れません。

状況が日々変わっていく農業情勢に対応していく為にもJAグループの一員として青年部も力を結集し対応していく必要があります。

我々青年部は、町全体の繋がりを強くすることで、厳しい状況を乗り越えられると考えております。昨年は、上士幌町と農協に協力を依頼し、狩猟免許取得に対する助成を正式に頂ける

事となりました。何より青年部員のみならず組合員の皆様に對しまでも今回の狩猟免許取得を通じて長年問題視されております鳥獣被害の減少に向けて素晴らしい事業を利用いただければ幸いです。

昨年七月に行われましたビアパーティーではチャールハン販売、八月のバルーンフェスティバルではトラクター展示など町で行われたイベントに参加させて頂きました。イベントを通じ、地域の方々と交流出来る環境は部員にとっても貴重な時間となったと思いますので、今後も大切にしていきたいと思っております。

食育事業では、毎年行われている上士幌小学校三年生を対象とした芋掘り体験を実施致しました。例年であれば、青年部員の圃場を使用して収穫だけの体験を行っていましたが、「せっかくなら植え付けから収穫までを体験して欲しい」との想いから、初の試みとして小学校の畑をお借りし、植え付けから収穫までを一緒にやる形と致しました。五月から授業の一環として一連の流れを説明しながら機械で畑が出来上がっていく風景を見学してもらいました。その後、子ども達と共に植え付

け作業を行いました。管理作業、防除などは青年部員中心で行い、何とか八月に収穫体験を行う事が出来ました。自分たちで植えた芋が日々少しずつ大きくなる様子を実際に見て収穫体験をすることは、今まで以上に子ども達にとって新鮮だったようで、

「これ私が育てた芋だよ」、「こんなに大きくなったよ」など嬉しそうに顔を上げていました。

収穫後は、教室にて馬鈴薯について学習会を行いました。今回は、初の試みでバタバタしましたが、子ども達が楽しそうに作業する姿や真剣に学ぶ姿を見ると改めてこの事業の大切さを実感すると共に実施して良かったと感じました。

十月には酪農体験を実施し、牛舎見学・搾乳体験・子牛との触れ合い・トラクター試乗を行いました。普段見たり触れたりすることのない酪農の仕事を経験して頂きました。実際に牛に触れて学ぶことで普段から当たり前に飲んでる牛乳がどのように育っているかを感じてもらい、少しでも酪農について興味を持って貰えれば嬉しく思います。

十一月には給食センターに寄贈した馬鈴薯を使用した給食を

小学生と一緒に食べました。いつも食べている食材に対して何か興味を持って貰えれば嬉しいです。今後も安心安全な農畜産物を作るためにも食と農の繋がりの大切さを伝えられるように努めていきたいと思っております。

青年部は創立七十周年を迎えました。十二月には七十周年記念式典を行う形となり、現在は記念式典に向け昨年度から実行委員会を立ち上げて青年部総出で準備しております。記念式典に向けて各関係機関の皆様には大変お忙しい中ではございますが、ご出席依頼等をお願いをさせて頂いている状況でございます。青年部一同、より良い記念式典になりますよう真摯に取り込んで参ります。ご理解とご協力の程、お願い申し上げます。

農業を取り巻く情勢は依然厳しいですが、私たち青年部員一人一人に今何ができるのかを考えてこれからの農業と上士幌町の為に今後も事業に取り組んで参ります。

結びとなりますが、皆様のご健勝とご繁栄を心からお祈り申し上げます共に、本年も豊穡の秋を迎えられますことをご祈念致しまして新年のご挨拶とさせていただきます。



2026

# 謹んで新年の お慶びを申し上げます

農協会長理事  
代表理事組合長  
専務理事  
常務理事  
筆頭理事  
理事  
〃  
〃  
〃  
代表監事  
常勤監事  
一般監事  
他  
農協地区連絡連合協議会 会長  
農協女性部 部長  
農協青年部 部長  
ホクレン清水製糖工場北部原料所 所長  
農民同盟 委員長  
酪農振興会 会長  
畑作振興会 会長  
馬産振興会 会長  
和牛生産改良組合 組合長  
ホルスタイン同好会 会長  
野菜生産組合 組合長  
酪農ヘルパー有限責任事業組合 組合長  
農協年金友の会 会長

泉根楠小齋金齊佐伊佐伊矢藤職細松遠布菅熊嶋泉林高高小  
田本 椋藤田藤藤藤藤戸本員木岡山谷原谷木田 木橋椋  
耕明圭淳 龍雄喜顕宏顕 一芳秀昇知 勝和宏 昭茂  
作則太一豊二司明郎二郎 藍猛同宏行治宏彰肇美寛行茂博敏



# 第16回全日本ホルスタイン共進会

## 小椋淳一氏名誉賞受賞!



名誉賞（7部～13部） 小椋淳一氏 出品牛 ハイロード ラムダ エクスタシー

10月25・26日、安平町早来の北海道ホルスタイン共進会場において第16回全日本ホルスタイン共進会が開催された。ホルスタイン種368頭、ジャージー種32頭が出品し、審査員は（一社）日本ホルスタイン登録協会 北海道支局審査部部長稲山智明氏が務めた。

本町からは8頭が出場し、その中でもホルスタイン種にて小椋淳一氏の第13部出品牛「ハイロード ラムダ エクスタシー」が経産牛2歳3歳クラスにおいて名誉賞を受賞し輝かしい成績を収めた。また本町から出場した7頭が優等賞に選ばれる目覚ましい活躍を見せ、共進会が閉会した。



4部 優等賞1席 小椋直樹氏 出品牛  
ドラマチック サイドキック スカイツリー 2



名誉賞（7部～13部）  
13部 優等賞1席 小椋淳一氏 出品牛  
ハイロード ラムダ エクスタシー





## 第16回 全日本ホルスタイン共進会 入賞結果

開催日 令和7年10月25日(土)・26日(日)

### 上士幌出品牛入賞結果

順位	部門	名 号	生年月日	出品者
優等-3	3	ハイロード ドーマン サンダー エスペランザ ET	R 6.07.19	小椋 淳一
優等-4	3	ハツピーグローリー OHリバー-SYC ファーニア	R 6.07.05	熊谷 肇
優等-1	4	ドラマチック サイドキック スカイツリー 2	R 6.05.03	小椋 直樹
優等-4	5	ハツピーライン ARK ロイヤル オリエント ET	R 6.02.24	吉田 智貴
2等-1	7	ハツピーライン インプリント シヤイニー	R 5.10.24	吉田 智貴
優等-2	9	ハツピーライン アリゲーター エリオット	R 5.02.09	吉田 智貴
優等-7	12	ハイロード バリー チーフ リサマリー ET	R 4.06.15	小椋 淳一
優等-1BU	13	ハイロード ラムダ エクスタシー	R 4.03.17	小椋 淳一

### 全体の入賞結果

順位	部門	名 号	生年月日	出品者
	名誉賞 (1部~6部) 3部 ハツピーライン RT アンテロープ ルル		R 6.07.01	枝幸町 内田喜久男
	準名誉賞 (1部~6部) 5部 セジス ビューティ クリーメル サン ユニクス		R 6.02.06	清水町 高橋 喜一
	名誉賞 (7部~13部) 13部 ハイロード ラムダ エクスタシー		R 4.03.17	上士幌町 小椋 淳一
	準名誉賞 (7部~13部) 10部 グランシヤリオ ラム ウオーク ダン アンネリーゼ ET		R 4.10.04	湧別町 木村 有斗
最高位	名誉賞 (14部~16部) 16部 サニーウエイ アストロ マツカチエン		H30.05.16	遠軽町 木村 吉里
	準名誉賞 (14部~16部) 15部 エリー スマイル ユニキュア ET		R 2.01.05	広尾町 株式会社アディーサービス

### ジャージー種の部

順位	部門	名 号	生年月日	出品者
	名誉賞 20部 エムコラボ カジノ シエーングランツ		H31.03.19	苫前町 中嶋めぐみ
	準名誉賞 19部 SF カジノ M チエリー		R 5.03.15	岩見沢市 (株)瀬能牧場



# 第16回 全日本ホルスタイン共進会 出品牛





# 農協法公布記念日に

## あたって



北海道農業協同組合中央会

代表理事会長 **樽井 功**

昭和二十二年十一月十九日

に農業協同組合法が公布されてから七十八年が経過しました。

戦後の食糧不足の混乱期に、農業者の協同組織を通じて農業生産力の向上と農業者の地位向上を図り、国民経済の発展に寄与することを目的に制定されたこの法律により、農業協同組合が誕生しました。

農業協同組合は「農業者による農業者のための組織」として、自主・自立、民主的運営を基本に、相互扶助の精神のもと、組合員の営農と生活の安定、地域社会の発展に貢

献してきました。

一方、現在、農業・農村を取り巻く環境は大きな変革期を迎えています。気候変動による猛暑や豪雨、円安による資材高騰、国際的な食料需給の不安定化などが農業経営に影響を与えています。

昨年、農政の憲法とも言われる食料・農業・農村基本法の改正により、国民一人一人の食料安全保障の確保と環境と調和のとれた食料システムが基本理念として位置付けられ、世界的な食料需給の不安定化による輸入リスクの増大、環境問題への対応など、日本

の農政は大きな転換点を迎えています。

J Aグループ北海道は、改正基本法に基づく農業構造転換対策の予算確保、食料安全保障の強化、持続可能な北海道農業の確立に向けて、組合員の声を国政に届ける活動を継続しています。

国連は、持続可能な生産と消費、食料安全保障、気候変動対策、地域の人々への医療・福祉、働きがいのある人間らしい仕事の創出、すべての人が参加できる社会づくりなど、さまざまな分野で持続可能な開発目標（SDGs）に貢献している協同組合を評価し、その認知の向上と協同組合の振興のために、二〇二五年を国際協同組合年に定めました。

この国際協同組合年を契機に、協同組合の力を再認識し、地域課題の解決と安心で豊かな未来の創造を目指しましょう。

最後になりますが、J Aグループ北海道は、組合員との対話活動を一層強化し、協同組合の理念と精神を組織結集力につなげ、今後とも組合員の皆様が夢と希望を持って営農と生活が続けられる環境を整えること、地域農業とJ Aの発展に全力でサポートすることを誓い申し上げ、農協法公布記念日にあたつてのメッセージと致します。



JA  
青年部

## 子ども農業体験

(酪農)

小学校3年生と  
酪農体験を開催

子牛とのふれあい体験



ロボット牛舎見学



搾乳体験

十月二十八日、JA青年部酪農部会（荒井峻也部会長）は上士幌小学校三年生を対象に子ども農業体験を開催した。今年度も子どもたちを㈱DAIRY Farm TAKAGI（上音更）へ招いての酪農体験を実施し、当日は搾乳牛一頭を用いて搾乳体験を行った。子ども達は青年部員の指導のもと、最初は怯えながらであったが、次第に楽し

そうに搾乳体験を行っている姿が見られた。また、ロボット牛舎の見学やトラクター試乗体験、産まれて間もない子牛とのふれあい体験を実施すると、子どもたちは「あつたかい」「かわいい」などと大喜びであった。酪農体験中は小学生から青年部員へ質疑応答を行い、舎内で酪農に関わる日々の業務内容や牛の体についてなど多くの質問が飛び交う充実した内容となつ

た。また、給食の時間に食べてもらえるよう㈱DAIRY Farm TAKAGIで製造しているアイスクリームを提供すると、嬉しそうに給食の時間を楽しみにしていた。荒井酪農部会長は「子どもたちがとても楽しそうな表情を浮かべながら体験してくれて良かった。この体験を通して、少しでも酪農に関心を持ち、酪農の面白さ、大変さを感じてもらえたら。」と話していた。



記念撮影



# J A 青年部

## 給食センターへ馬鈴薯寄贈

十月二十三日、J A 青年部（伊藤頭太郎部長）は、部員宅で収穫された馬鈴薯を町内の給食センターへ寄贈した。

食育活動・地産地消の取り組みとして、安全・安心な地産の農産物を子どもたちに食べてもらい、上士幌町農業の素晴らしさ感じてもらうことを目的とし、今年度で二十三日目の開催となる。

当日は畑作部会員の圃場で収穫された馬鈴薯約八十キロを上士幌町教育委員会小堀雄二教育長へ手渡した。泉田澄夫畑作部会長より「今年度で二十三回目となったこの事業も毎年違った青年部員による寄贈が行われており、それぞれの圃場で丹精込めて育てられた馬鈴薯を給食で使用していただき、地産の農産物を子どもたちに味わってもら



らい、美味しいと感じてもらえたら嬉しい。」と挨拶。小堀雄二教育長は「子どもたちには安心・安全な食材を通じて今まで以上に農業について理解してもらいたい。」と御礼を述べた。

寄贈した馬鈴薯は今後、町内の学校給食として様々なメニューで配給される予定となっている。

# 第50回 J A 十勝青年部大会

## 盛大に開催される

十一月二十五日、第五十回 J A 青年部十勝大会が開催され、十勝管内二十三単組から多くの盟友が参加した。

大会では、五単組の各代表者による十勝地区 J A 青年の主張大会、「北海道のためにく選手として、経営者として」と題し、レバンガ北海道代表取締役社長折茂武彦氏の講演会、三十秒 C M コンテスト、純農ボーイコンテスト、十勝地区農協青年部協議会事業報告、懇親会が行われた。

三十秒 C M コンテストでは、各単組の個性豊かな C M に笑いや感動で会場が沸いた。J A 上士幌町青年部



高橋組会長 祝辞の様子

からも一作品応募したが、惜しくも入賞とはならなかった。

懇親会では余興のアームレスリング大会が行われ、各単組による熱い応援で会場が沸いた。大会に参加した青年部員は他単組との交流を深め、有意義な時間を過ごす事ができた。



増田副会長 十勝地区青協事業報告の様子



青年組織綱領朗読

## JA青年部

## 管外合同視察研修開催

十二月三日～四日、JA青年部畑作部会・酪農部会（泉田澄夫畑作部会長・荒井峻也酪農部会長）は管外合同視察研修を開催し、十九名の部会員が参加した。

今回は北広島市にある、北日本スカイテック株式会社と札幌工場を視察した。

北日本スカイテック株式会社では、会社説明・農薬散布用ドローンの機体説明・デモフライト・ドローンサッカー体験を行なった。北日本スカイテック株式会社は農業分野を中心に無人航空機の販売とメンテナンス、操縦教習を続けており、さまざまな産業で無人航空機の利活用が進む昨今の環境変化を捉え、近年は幅広い方を対象としたドローンスクールの開校や橋梁点検、治山工事などにおける



視察の様子

無人航空機の技術提供など、新たな事業展開を行っているとの説明を受けた。ドローンサッカー体験では、実際にドローンを操作しサッカーを行うなど普段触れることのない経験に部員たちも興味津々な様子で体験していた。

その後、北海道コカ・コーラ札幌工場に移動し工場見学を行った。北海道コカ・コーラは、コカ・コーラ社製品の製造・販売を一手に担う企業であり北海道を主な販売地域とし、コカ・コーラ、ファンタ、スプライト、アクエリアス、Qoo、ジョージアなどのコカブランド製品を販売している。北海道コカ・コーラ札幌工場は、コカブランド製品の飲料製造を行っており、製造ラインや環境対策、立体自動倉庫など、様々な製造工程を見学した。

視察研修を終え、伊藤部長は「部員達が幅広い農業知識を学べて良かった。新しく学べた事も多々あり、今後の営農活動に活かしていきたい。」と話していた。



北日本スカイテック株式会社視察



北海道コカ・コーラボトリング札幌工場視察

## 第74回 JA青年部

## 全道大会開催

十二月四日～五日にかけて第七十四回全道JA青年部大会が札幌パークホテルにて開催され、全道各地の青年部員が集まり当JA青年部からも五名の役員が出席した。

初日は各単組の代表者によるJA青年の主張大会・活動実績発表大会が行われ、主張大会については、十勝から先日開催された十勝大会の代表者が壇上で堂々と発表していた。二日目は基調講演・本



青年組織綱領朗読



会場の様子

大会が式次第に沿って行われ、盛大のうちに閉会した。今後とも上幌町農協青年部はこのような上部組織への積極的な参加を行っていく。



# 理事会だより

## 第9回理事会

令和7年10月24日

### 報告事項

1. 第2・四半期監査報告について
2. 内部監査報告について
3. 組合員の加入について
4. 関連会社の財務状況について
5. 十勝管内JAコンプライアンス研修会の開催について
6. 固定資産（資本的支出）の取得について
7. 営農貯金利率について
8. 令和7年産馬鈴薯集荷実績について
9. 令和6年度産食用・加工用馬鈴薯共同計算の精算結果報告について
10. 令和7年産豆類集荷状況について
11. 令和7年産原料てん菜輸送計画について

12. 固定資産の取得について

13. 第54回十勝総合共進会（乳用牛の部）入賞結果について

14. 第2・四半期生乳生産出荷状況について

15. 農作業受委託事業に係る粗飼料の収穫作業結果について

議案第1号  
役員選出制度審議委員の委嘱について

議案第2号  
固定資産の取得について

議案第3号  
固定資産の取得について

議案第4号  
大豆施設出荷設備に係る系統施行の実施について

11. 令和8年度ミルクローリーシャーシ導入に係る見積合わせ結果について

10. 固定資産（有形リース資産）の取得について

9. 固定資産（有形リース資産）の取得について

8. 令和7年度農地評価額について

## 第10回理事会

令和7年11月21日

### 報告事項

1. 内部監査報告について
2. 組合員の加入・脱退について
3. ネットバンキング詐欺被害補償について
4. 大豆収穫状況について
5. 令和7年産種子馬鈴薯入庫状況について
6. 第16回全日本ホルスタイン共進会北海道大会の入賞結果について
7. 11月1日（土）低気圧による暴風被害の集計結果について
8. 令和8年度ミルクローリーシャーシ導入に係る見積合わせ結果について
9. 固定資産（有形リース資産）の取得について
10. 固定資産（有形リース資産）の取得について
11. 令和7年度産食用・加工用馬鈴薯共同計算の精算結果報告について
12. 令和7年産豆類集荷状況について
13. 令和7年産原料てん菜輸送計画について

12. 固定資産（資本的支出）の取得について

議案第1号  
固定資産の取得について

議案第2号  
いすゞタンクローリー2号車の修繕（資本的支出）について

議案第3号  
固定資産の処分について

協議事項  
1. 令和8年融資方針及び営農計画書協議方針について

2. 令和7年度農地評価額について

## 行事予定

1月

3日 仕事始め（スタンド）

6日 仕事始め（事務所）

8日 和牛市場

9日 飼料定配

13日 乳牛市場

15日 育成牛市場

20日 F1市場

23日 飼料定配

27日 乳牛市場

下旬 農業廃プラ

2月

4日 和牛市場

9日 乳牛市場

9日 飼料定配

12日 育成牛市場

18日 F1市場

25日 飼料定配

25日 馬市場

下旬 農業廃プラ



JA女性部

## 日帰り研修会開催

JA女性部（矢戸藍部長）は十二月二日、農協事務所三階会議室で日帰り研修会を開催した。

当日は二十四名の部員が参加し、矢戸部長の挨拶で開会し研修に入った。

はじめに十勝農業改良普及センター十勝北部支所地域第二係長笠井千会氏を講師に迎えて農作業安全講習会が行われた。アシストスーツについて、熱中症対策、安全の心構えを保つ工夫などの研修を受けた。次に、虫対策に最適なパラコードを使用したオニヤンマ作りを行った。周りの部員と手順を確認しながら終始笑顔でオニヤンマ君を作り上げていた。その後、ビンゴ大会が行われ、JA常勤、JA各部署、Aコープルピナから豪華景品（一位には組合長賞の十勝ナイタイ和牛など）が用意され、大いに盛り上がった。

最後まで部員間の交流が続く、女性部がより一層絆と輝きを増した研修会となった。



矢戸部長開会挨拶



普及センターによる農作業安全講習



作品作り様子



組合長賞 おめでとうございます！



ビンゴ入賞者





## 令和7年度

# JA北海道女性大会・北海道家の光大会開催



十一月十二日、十三日、札幌パークホテルにて令和七年度ＪＡ北海道女性大会・北海道家の光大会が開催された。

道内ＪＡ女性部員約三百八十名が参加した。当ＪＡからは女性部長、副部長三名が出席した。

一日目は、家の光持ち寄り読書・家の光記事活動体験発表が行われた。次に、東京大学鈴木宣弘氏を講師に迎え、「日本農業の今後の展望について」の研修会があり、その後全体懇親会が行われ終了した。

二日目は農業ガールズコレクションが開催された。今年はおかず1グランプリが行われ、十勝地区からは十勝の食材をふんだんに使用したすき焼き「十勝まるごと愛情煮込み」と十勝の恵みをぎゅつと詰め込んだ餃子「十勝まるごと愛情包み」と題し出品した。農業ガ

ールズコレクションで紹介したレシビは会場で試食会を行い、大いに盛り上がった後に閉会した。

今大会は農業やJ Aをめぐる諸情勢や動きを踏まえた新たな計画や決議等が策定された経過をもとにJ A道女性部として関係機関の助言のもと、新たな基本方針の策定をはかるとともに全道の仲間と連携をはかり、今後の活動の活性化やJ A運動に結集することを目的に開催された。J A北海道女性協議会はJ A女性組織三ヶ年計画「あいからはじまる 元気な地域をみんなの力で」並びにJ A道女性協の組織強化基本方針等に基づき活動している。



## JA女性部 商工会女性部との交流会開催



J A女性部（矢戸藍部長）は、十一月二十一日道の駅かみしほろにて商工会女性部役員とJ A女性部役員との交流会を開催した。

交流会は商工会女性部森岡部長の挨拶から始まり、互いの活動内容を報告し交流を楽しんだ。その後、自己紹介をし、自身の目標や今後やってみたいことなどを話し、大いに盛り上がった。

矢戸部長から閉会の挨拶を頂き、一丁締めで閉会した。

家の光

1月号の読みどころ  
今年のもっとウマ〜く  
笑おう！

「笑う門には福来る」と言うように、笑顔には幸福を引き寄せる力があります。「笑い」が心身の健康に効果的だということとは医学的にも実証されつづけており、病気の予防や治療においても注目を集めています。自分が笑うだけでなく、人を笑わせるための話のネタの見つけ方や話し方のコツ、体を動かしながら顔の筋肉も動かしてとびつきの笑顔になる体操や、見ているだけで笑顔になり、贈る相手も顔がほころぶ「笑い文字」の描き方などを幅広く紹介します。

2月に注目！2月号予告

厳しい納入期限を求める商習慣の見直しや持ち帰りの拡大により、食品ロスが削減されている。家庭でも無駄なく、おいしく、栄養を引き出しながらおいしく食べること、食品ロスを減らすアクションの一つでも実践できるよう、半端食材を一掃する絶品レシピや、今まで捨てていた部分を使った体にいいレシピなどを四人の料理研究家に教えていただきます。

# すずらん会 11月例会

## のんびりした一日を 一泊研修旅行開催

J A女性部すずらん会（大平照子会長）は11月11～12日に一泊研修旅行を行った。

今年はしほろ温泉プラザ緑風に宿泊し、会員6名が出席した。

当日は15時30分にしほろ温泉プラザ緑風に集合し、18時から懇親会を行った。大平会長の音頭で乾杯し美味しい料理を堪能しながら、世間話で大いに盛り上がった。夕食を食べた後はそれぞれ温泉を満喫し、部屋でおしゃべりをして日頃の疲れを癒やしていた。



しほろ温泉プラザ緑風にて



乾杯！

# すずらん会 12月例会

## いもころがし大会開催！



J A女性部すずらん会（大平照子会長）は12月3日に「いもころがし大会」を行った。

手や足を使って色々な形をした芋を転がし、高得点を狙うゲームで今回は6名が参加した。

参加人数が少ないこともあり班分けせず二種類の得点表を使い、順番に回って行われた。今回は芋だけでなくミニかぼちゃも使用して行い、高得点を狙ったつもりが隣のマイナス点に入る等、大いに盛り上がった。

ゲーム終了後は景品が全員に当たった。その後農協会議室で忘年会が行われ、様々な話で盛り上がり寒さを忘れる楽しい一日となった。



点数の協議中！



高得点を目指して



# 農業者年金で安心・豊かな老後を

～農業者の老後は国民年金だけでは不安です～

◎農業に従事する方の老後の安心に役立ちます。

## 国民年金 + 農業者年金

◎こんな方が加入できます。

①国民年金第1号被保険者

②年間60日以上農業に従事

③20歳以上65歳未満の方※

※60歳以上65歳未満の方は国民年金任意加入被保険者に限ります。



◎積立方式だから自分がかけた金額は年金として生涯もらえます。(仮に80歳前に亡くなった場合でも、死亡一時金が遺族に支給されます。)

◎保険料はいつでも変更 できます。

月々2万円※から6万7千円まで

※政策支援(以下参照)の対象とならない方は1万円

◎支払った保険料は全額社会保険料控除となり、所得税や住民税等の  
節税 になります。

◎政策支援(保険料の国庫補助)が受けられます。

例: 認定農業者等で青色申告者で35歳未満の人は10,000円(5割)補助

問い合わせ先

J A 上士幌町 管理課 TEL. 01564-2-2131

上士幌町農業委員会 TEL. 01564-2-4298

# 第44回 十勝農協連海外農業研修視察報告

代表理事組合長 高橋 昭博（十勝農協連団長）  
 営農振興課長 鈴木 敬裕  
 農産係長 猪狩 健太郎



この度、第四十四回十勝農協連海外農業研修視察として十一月二日から十二日までの日程でアメリカ西海岸カリフォルニア州の農業関係機関及び生産者への視察研修に参加させていただきましました。カリフォルニア州は主に太平洋の影響を受けた地中海性気候で夏は乾燥しあたたかく少雨。冬は温暖で雨が多く標高の高い所では降雪もある。ただし、広大な州のため緯度、標高、海岸からの距離によっては砂漠気候から亜寒帯気候と様々な気候帯が存在します。

今回の研修視察は十一か所を訪問し主に①有機栽培（生産から販売まで）に取組む生産者、②大規模経営生産者、③ドローン、AIを駆使した技術に取組む研究機関及び実務者④最新鋭の資材（機械）の開発メーカー、⑤干ばつ対策、⑥近隣で開催されていたファーマーズマーケットや地域のショッピングセンター等の視察、⑦その他アメリカ農業の課題等について研修を行った。

①有機栽培生産者について畜産関係では完全放牧のみでオーガニック認定を受けており、牛、豚、鳥、羊等家畜を飼養する生産者は国から農地（四百ha）を毎月五十万円でリースし経営を

行っており、家畜の肉類を加工し（外部委託）販売までを行っている牧場を視察した。畑作関係ではサリナス地区の生産者二件を訪問し、生産から加工までを一括に行い有機栽培で付加価値を高め安心安全な生産物を消費者に提供している。また、常に消費者が何を求めているかを把握し時代に沿った農業生産を展開していた。ベーカーズフィールドの生産者は、六百種類の作物を有機栽培し、その生産物を併設している売店での販売や収穫体験等も行える観光農園を経営。定期的に農園でイベントを開催する等多くの観光客が訪問する。他にも近隣の小学生を対象とした食育活動にも力を入れているとのことであった。

②大規模経営生産者について、ソラレ地区の酪農場は、九千頭（内搾乳頭数三千二百頭）、経営面積二千八百haと酪農部門と耕種部門（果樹・野菜類）を分け大規模に事業を展開している。自前の粗飼料は主にアルファルファとコーン（計九百ha）を作付けし一本のスタックサイロに当農協TMRセンターバンカーサイロ十本分見合いのサイレージを貯蔵している。また、農場で生産する果樹の規格外品等も飼料として使用している。

大規模経営ではあるが育成はすべて自家保有し人工授精を行い後代検定等遺伝改良にも積極的に関与している。オックスナードの大規模農場はアメリカ国内、メキシコで計七千二百haの規模で野菜類を中心に総勢五百名以上を雇用し生産から加工、販売までを行っている。大規模経営を行う一方で有機栽培も一部で



サリナス地区のオーガニック農家での研修

カリフォルニア大学USデベイス校での研修



取組みオーガニック商品や外食産業向け商品を扱う子会社も運営している。

③ドローン、AIを駆使した技術に取組む研究機関及び実務者について、カリフォルニア大学USデービス校ではドローンで作物の写真を撮影しその画像をAIで生育状態(栄養蓄積度合い等)を判断するプログラムや葉の養分を瞬時に測定し結果をスマホで確認できるシステムの研究内容について説明を受けた。ツラレ地区のドローンを扱う企業ではドローンで撮影した圃場の生育状態を色分けで表示するシステムやそのデータを連動させリモコンで操作するスプレーヤーや施肥機、ドローンによる果樹の収穫等最先端技術の普及事例について説明を受けた。

④最新鋭の資材(機械)の開発メーカーについて、オックスナードの食品テクノロジー企業では植物由来成分で野菜や果樹の鮮度を長持ちさせるコーティング剤の開発及び活用事例につ



圃場での散水風景

いて説明を受けた。この材は商品の水分が失われるのを防ぎ通常より二〜三倍の期間長持ちさせることができて人体への害は一切ない。特に発展途上国等は保存設備や輸送インフラの未整備により製品が痛んでしまうケースが多々発生しておりこの技術の普及で課題がクリアされてきている。エルセントロの機械メ

ーカーではLASERWEEDERというカメラで地面をスキヤンし、AIが雑草を識別するとレーザーを成長点に照射し焼き切る機械及び施工現場を視察した。この機械の普及で農薬の使用量の削減を図り土壌内の微生物を保護し土壌の健康状態維持が可能となる。また、除草作業の省力化にも繋がる。(四畦の機械で販売価格約一億円)

⑤干ばつ対策として、今回視察させていた、だいたすべての箇所で水資源の確保が課題とされておりベーカーズフィールドの農業研究機関では主に柑橘類の品種改良や病害虫対策を研究しているが、近年少ない水資源で

どれだけ収量が確保できるかにウェイトを置き品種改良を進めているとのこと。また、この研修視察中の道中で圃場に水路を整備し、圃場内へホースを引き込み土壌内への散水や、センタ

ーピポットという大規模に作物を栽培するために、汲み上げた地下水に肥料を添加した後、自走式の散水管に圧送して水をまく灌漑法が見られた。また、農場としても地下水や灌漑装置を自費(補助無し・高額なもので一億円超)で導入するなど対応に苦慮していた。

⑥近隣で開催されていたファーマーズマーケットや地域のシヨッピングセンター等の視察について、ファーマーズマーケットは農畜産物だけではなくジュースやジャム等の加工品も販売されており祭りの出店のような雰囲気であった。全種類がオーガニック商品で値段は高めに設定されていた。(キャベツ一玉九百円、トマト一玉六百二十円等)また、商品の規格は不揃いでアメリカの消費者は規格にこだわりがなく、逆に日本が細かいすぎると感じた。また、シヨッピングセンターでは野菜類はパッキングせずそのまま陳列されているケースが多く見栄えが良く感じた。円安の影響もあるが

ライムで七六円、カボチャ三〇円、イモ一五五円、タマネギ一五五円、レタス二三五円。キャベツ三一〇円程の金額であった。

⑦その他アメリカ農業の課題等について、前段の干ばつ問題

だけではなく、アメリカでも農業における働き手が不足していること、後継者不足等に伴う離農の加速で一戸当たりの規模が拡大、人件費の上昇(最低賃金二十ドル・三千二百円)に伴う経営圧迫、施設や機械の更新、改修等日本と同じような課題を抱えており、今回研修視察を行ったAI、ドローンといった最先端技術活用や有機栽培等付加価値を高める取組みや環境やフードロスに配慮した取組みが今後も必要となってくると感じた。

このように同じアメリカ国内でも広大で気候や文化は異なりますが、「農業」については携わる方々が「より良い物を生産し消費者へ届け、農業所得を向上させ自分たちの暮らしを安定させる」という同じ目的意識をもって取り組んでおり、農業者はただ生産するのではなく消費者や時代が何を求めているか常に生産者が情勢を見極め、先の未来を見据えて取組む姿に今の十勝農業に足りないものを感じさせられました。そして近い将来の十勝の農業経営が今のアメリカの農業そのもの(灌漑農業や大規模化等)だと非常に参考になり、この経験を必ず今後の業務で還元できるよう日々業務に励んで参ります。また、十一

日間共に素晴らしい経験、時間の共有をして下さった皆様、本当にお世話になりました。

最後になりますが、このような素晴らしい研修に参加させていただいた上士幌町農業協同組合に感謝するとともに事務局の十勝農協連、関係機関に厚く感謝とお礼を申し上げます。大変ありがとうございました。



レーザー除草システム  
LASERWEEDER



ロサンゼルス市内のファーマーズマーケット

# 酪農振興会 女性研修会開催

酪農振興会（佐藤喜明会長）は、十一月十一日に農協会議室において、上士幌町内で酪農に携わる仕事をしている女性を対象にした研修会を開催した。

講師に十勝改良普及センター十勝北部支所地域第二係長笠井千会氏を招き「哺育のポイント再確認と最近の知見について」と題し講座を行った。子牛の生まれ落ちと自己免疫・初乳について等、哺育についてわかりやすい説明を受けた。参加した酪農に携わる女性が



講師 笠井千会氏

らは、疑問に思っていることなど質疑応答を行い、有意義な講座となった。講座後は、講師を交えて昼食会を開催し、交流と情報交換を楽しんだ。



女性研修会の様子

# 上士幌町交通安全緊急決起集会開催

町は十月十日、上士幌町交通安全協会主催で町内の団体らを対象とした上士幌町交通安全緊急決起集会を生涯学習センターわつかにて開催した。

今年は、十勝管内の市町村の中でも最長記録だった交通事故死ゼロ記録四三三四日が途絶えた他に、町内での交通事故が相次いだことを受け緊急決起集会を行った。上士幌町竹中町長、JA上士幌町高橋組合長、町生活安全推進協議会國光会長、帯広警察高谷交通第一課長が来賓として出席した。帯広警察高谷交通第一課長は「減速と安全確認の徹底をしていただきたい」と呼び掛けた。

決起集会閉会後に国道二七三号沿いの消防所前にて、旗波作戦が行われた。啓発には交通安全指導員のほか農協や上士幌町高校等会員約五十人が参加し、黄色い旗を道路側に向けて行き交うドライバーに安全運転を促した。



交通安全旗波作戦街頭啓発



交通安全決起集会の様子

# 新入職員紹介



和田 雄太  
(酪農課)

・生年月日

平成元年四月二十日

・出身地

浦幌町

・最終学歴

北海道立農業大学校

・趣味

ドライブ・食べ歩き・温泉など

・抱負

ミルクローリードライバーとして一日でも早く酪農家さんの力になれるよう頑張りますので、宜しくお願いいたします。

# 人事の動き

人事異動 十二月八日付

農産部考査役兼務

佐藤 浩敏

畜産部酪農課酪農係

水谷 秀和



酪農情報

令和7年度10月 生乳受託販売実績数量

	受託戸数	受託乳量	前年比	乳代①	単価	補給金②	合計①+②	単価	前年との差
上士幌町	戸 57	kg 9,980,688.0	% 96.8	円 1,198,218,217	円 120.05	円 89,959,931	円 1,288,178,148	円 129.07	7.60
十勝管内計	935	106,191,714.8	100.8	12,875,010,891	121.24	957,148,392	13,832,159,283	130.26	6.83
全道計	4,157	326,606,852.7	100.0	40,025,333,050	122.55	2,943,838,206	42,969,171,256	131.56	7.19

	累計受託乳量	前年比	単価	前年との差	乳脂肪率%	無脂固形率%
上士幌町	kg 73,466,029.0	% 100.1	円 124.4	% 4.2	% 3.880	% 8.850
十勝管内計	767,937,884.1	103.1	125.6	4.3	3.963	8.842
全道計	2,356,806,124.8	102.1	126.6	4.5	4.041	8.840

家畜市場成績

令和7年度 ホクレン十勝肉牛市場消流情報（7.11.6）（7.11.20）

	黒毛和種・メス	黒毛和種・去	乳用交雑・メス	乳用交雑・去
出場頭数 頭	435	536	1,273	1,069
成立頭数 頭	430	525	1,245	1,057
売買比率 %	98.9	97.9	97.8	98.9
売買金額 円	279,438,500	385,975,700	570,896,700	536,747,200
最高金額 円	1,096,700	997,700	596,200	613,800
最低金額 円	183,700	212,300	251,900	313,500
平均金額 円	649,857	735,192	458,552	507,802

令和7年度 ホクレン十勝地区乳牛市場消流情報（7.11.25）

	初妊牛小計	経産牛小計	合計	上士幌町
出場頭数 頭	692	78	774	24
成立頭数 頭	584	76	664	22
売買比率 %	84.4	97.4	85.8	91.7
売買金額 円	375,002,100	45,020,800	422,268,000	13,813,800
最高金額 円	1,258,400	938,300	1,258,400	820,600
最低金額 円	201,300	220,000	201,300	343,200
平均金額 円	642,127	592,379	635,946	627,900

# 秋の収穫 作業風景



大豆収穫



てん菜収穫



長芋収穫



ごぼう選果



薬草茎切作業



豆選果





上土幌町農協組合員のみなさんへ

## 令和7年度 巡回ドックの最終案内




ご自身の健康管理のため、組合員様とご家族皆様へ巡回ドックのご案内をいたします。  
まだ健診を受けていない方は、1月の巡回ドックをぜひご利用ください。

### <ふれあいプラザで実施する集団健診>

日時	健診名	対象者	料金	健診内容
令和8年 <u>1月27日(火)</u> <u>~30日(金)</u>	特定健診	40~74 歳の町国民健康保険加入者	0 円	身体測定 血圧測定 血液検査 尿検査 心電図検査 眼底検査 医師の診察
	基本健診	18~39 歳の方		
	後期健診	後期高齢者医療保険加入者		

★国保以外の健康保険加入者で40~74 歳の場合、令和7年度特定健診受診券をお持ちの方等も受診することができますが、金額や検査内容は加入している健康保険にお問い合わせください

### <上記の健診と一緒に受けられるがん検診>

検診名	料金	検診内容
大腸がん検診 	500 円	便検査
肺がん検診 	400 円	胸部レントゲン検査
胃がん検診 	1,400 円	胃バリウム検査

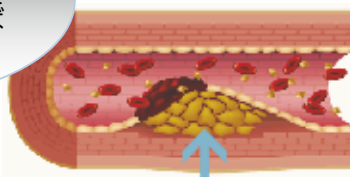
この他にも前立腺がん等の検診も行っておりますので、受診希望の方はお問い合わせください！



料 金	上記の検診料金の半額を農協が助成します
申込み先	農協管理課 または、 役場保健福祉課健康増進担当(ふれあいプラザ内 電話2-4128)

★定員に達した場合は、ご希望の日時に添えない場合があります。

血管・血液の状態を自分自身で確認する機会を持つことが、健康寿命を伸ばします



コレステロールなどがたまって狭くなった血管

2次元コードからも申込みます！



健診専用



令和7年度 年末年始の業務体制

	12.29	12.30	12.31	1.1	1.2	1.3	1.4	1.5		備考
	月	火	水	木	金	土	日	月	月	
事務所	8:30 ～12:00	○	○	○	○	○	○	○	○	6日から平常営業
信用・共済窓口	9:00 ～16:00	9:00 ～15:00	○	○	○	○	○	9:00 ～16:00		6日から平常営業
事務所内 A T M	8:00 ～19:00	8:00 ～19:00	○	○	○	○	○	8:00 ～19:00		6日から平常営業
生産資材店舗	8:30 ～12:00	○	○	○	○	○	○	○		6日から平常営業
生産資材倉庫	8:30 ～12:00	○	○	○	○	○	○	○		6日から平常営業
農産センター	8:30 ～12:00	○	○	○	○	○	○	○		6日から平常営業
セル フ ス タ ン ド	8:00 ～19:00	8:00 ～19:00	8:00 ～15:00	○	○	8:30 ～15:00	8:30 ～15:00	8:30 ～15:00		6日から平常営業
洗車場	8:30 ～18:00	8:30 ～18:00	8:30 ～14:00	○	○	9:00 ～14:00	9:00 ～14:00	9:00 ～14:00		6日から平常営業
集乳所	業務	業務	業務	業務	業務	業務	業務	業務	業務	交代勤務により 無休
TMRセンター	業務	業務	業務	業務	業務	業務	業務	業務	業務	交代勤務により 無休
ナ イ タ イ 高 原 牧 場	業務	業務	業務	業務	業務	業務	業務	業務	業務	交代勤務により 無休

※○は休業日